なびい通信

<6,7月号> No.139　2016年6月1日発行
発行責任者　施設長 伊藤　祐子

【住所】　〒186-0003
国立市富士見台2-8-7
ラフォーレ国立Ⅲ　101号
地域活動支援センター　なびい
Tel (042) 571-3103
Fax (042) 505-6763

「情報の洪水」にどう向き合うか？　大切なことは何か？

～最近のニュースから～

梅雨のじめじめした毎日が続き、あいまに青空が見られるのが待ち遠しい毎日です。

熊本地震は改めて自分の身の回りを考えさせられました。前震と本震、2つの大きな断層のずれ、また近くの小さな断層のずれが連動して起こったものでした。気象庁は会見の中で、非常に複雑な断層帯のずれと表現していました。しかしある民放テレビの評論家は、2つの断層は別々に走っているので、前震と本震ではなく、別々の地震と考えるべきだとコメントしていました。

「気象庁の発表」と「評論家の意見」に一見違いがあるように見え、情報が洪水のようにあふれてくると、不安感が増すばかりですが、いずれにしても「私たちの生活と自然の驚異は切り離せない」と認識することが大切なのだと考えます。ネガティブな情報やよくわからないことには目を背けてしまいたくなるのは仕方ないことなのですが、結果的に問題を先送りにしてしまうということにもなりかねません。

例えば、皆さんも「イスラム国」だとか「シリア難民」という単語を耳にしたことがあるかと思いますが、「怖い」という情報だけが頭に残ってしまうようです。「ロシアが支援するアサド政権体制派」「欧米が支援する反体制」「イスラム国」の三者が、シリア国内で空爆や戦争をしているため、一般市民が「シリア難民」となってヨーロッパに流されている現実があります。

三者それぞれに自分たちは正しいという主張はあるようです。「ニューヨーク同時多発テロ」「イラク戦争」「アラブの春」など過去の事件とのつながりは否めません。どうしてもあふれる情報に目を背けたくなるのも事実ですが、しかし大切なことは、それに巻きこまれた少数派の一般市民がいて、自分の故郷を追われているという事実です。ここにマイノリティ（少数派）の問題がひそんでいるということです。

正しい情報や認識は、インターネット、テレビなどの媒体の情報をきちんと整理する事から形作られます。あふれた情報をいったん整理する作業は、精神の病を知る場合にも必要になってきます。主治医の意見にも時には疑問をもち、どう治っていくか、治していくか、薬の効用など、立体的に捉えないと病の本質がわからないと思うからです。

こういう自分の病気を知る作業、つまり情報を集めたり、整理したりといったことになびいのスタッフも関われたらいいと、日々考えています。

（文責　櫻井　博）

編集委員のつぶやき

学校を卒業して就職した翌日、生命保険の勧誘のおばさんが来て、上司の言うにやまれぬ説得もあり、いわば強制的にはいってしまった（？）生命保険。その保険の医療保険の部分を見直さないかという話しがあり某レストランで話し合いをもちました。

生命保険会社の保険は「万が一死亡した場合の生命保険」と「病気等で入院した場合の医療保険」のふたつでできています。だいたい医療保険は掛け捨ての場合がほとんどです。この医療保険が 60 歳を過ぎると 10 年後に掛け金が倍額になるので、「新しく医療保険を契約しないか？」という提案でした。掛け金は 2000 円ぐらい高くなりますが、一定で 80 歳まで続けることができるというので、しぶしぶ提案を受け入れようと思って次回会う約束をしました。

そして次に会ったとき、健康状態の告知という話のなかに、精神疾患で通院しているという一項があり（実際、若いとき初めて契約したときはこの一項もなく、すんなり通りました）、チェックをした為、どういう疾患か？　月何回ぐらい通院しているのか？　等細かく聞かれました。「生命保険会社の医療保険は心臓病と精神病に関しては最近厳しくなっている」と、この時担当者から初めて聞かされました。場合によっては審査が通らないという話を聞き、帰路に着きました。

後日担当者から「誠に残念な結果ですが、新しい医療保険の契約はできませんでした」と告げられました。精神病にある種偏見のようなものを感じ、担当者に説明を求めましたが、担当者も「審査するところの理由は聞かされてないので会社の意図はわかりません。」と言い、「病気を告知しないでも入れる医療保険の用意（他社）のもあるので、そちらをすすめることもできますが」と、言わば逃げ腰だったので、「60 歳になったらまた考えます」と契約はそのままにしました。

精神病は、雇用率の義務化、差別解消法の施行など、着実に社会の理解は得られつつはあります。それでも未だに企業はこういうかたちである意味防戦しているのかと、その一端を感じた出来事でした。

フリーマーケット盛況でした

５月 14 日（土）、富士見台商店街にて行われたフリーマーケットに出店しました。みなさまにもお伝えした通り、今回の目的は熊本地震へのチャリティとし、天成舎さん（就労継続Ｂ）、櫻の杜ハウスさん（グループホーム）のご協力もいただきました。たくさんの品物が集まり、お天気にも恵まれて、売り上げはなんと、なびぃ史上最高額の <u>26,350 円！！</u>　これも、協力してくださったみなさまのおかげです。この売り上げ全額と、法人全体の職員・メンバーからの寄付をあわせて、熊本にある「社会福祉法人　照徳の里」を通して、精神の方々の支援をしている施設に直接届けてもらうことにしました。みなさま本当にありがとうございました。またチャリティフリマやりましょう。

6.7月のプログラム

	日程	時間
和食の会 月3回 金曜日 午前	6/ 3(金)　7/ 1 (金) 6/10(金)　7/ 8 (金) 6/17(金)　7/15 (金)	11:00～13:00
	参加費 250円	
ヨガ教室 月1回 木曜日 午後	6/23(木) 7/28 (木) 場所　ピアスⅡ・1階	13：30～14：30 前回から時間が変更になりました！ご確認ください♪
	参加費 100円 参加費を見直しました！	
お楽しみ会 月1回 土曜日 室内でのお楽しみ会開催中はフリースペース利用はできませんのでご確認ください	6/18 (土) **映画鑑賞** **上映作品は未定** 参加費無料 おすすめの作品があれば教えてください♪	14：00～16：00
	7/16(土) **納涼会・お茶会** 参加費 200円程度	14：00～15：30
ウォーキング 月2回 金曜日 午後	6/10 (金)　7/ 8 (金) 6/24 (金)　7/22 (金)	14：00～15：00ごろ
	「健康のために歩きたいな」「家から一歩出たいな」、という方、一緒に少しずつ歩いてみませんか？ 各回、ルートを変えて開催する予定ですので、興味を持たれた方、お気軽に担当スタッフまで。	
デイサービス 月2回 水曜日 午前	6/ 8 (水)　7/6 (水) 6/22 (水)　7/20 (水)	10:00～12:00
	※デイサービス登録者の方には別途お知らせをお送りします	

★なびぃでは一緒に通信を作ってくださる方を募集しています★

連絡先　なびぃまでお問合せください（042－571－3103）